

名前

1. すい液 2. 胆汁 3. 胃液 4. だ液

1. 葉には気孔が存在しないため、主に茎の表面から活発に行われる。
2. 葉の裏側の方が気孔の数が多いため、裏側でより活発に行われる。
3. 葉の表側と裏側で気孔の数は変わらないため、どちらでも同じように行われる。
4. 葉の表側の方が気孔の数が多いため、表側でより活発に行われる。

1. 光が当たらない環境では、植物は二酸化炭素を吸収することも排出することもしなくなるから
2. 光が当たらないことで呼吸が行われなくなり、光合成のみが行われたから
3. 光が当たらないことで光合成が行われなくなり、生命維持のための呼吸のみが行われたから
4. 光が当たらないことで光合成と呼吸の両方が行われ、わずかに光合成の量が上回ったから

1. 食物に含まれる栄養分を、細胞に取り込まれやすい別の物質へと変化させて吸収すること	2. 食物を分解する際に発生するエネルギーを利用して、体温を一定に維持すること	3. 食物に含まれる有害な物質を分解し、毒性の低い物質へと変えて体外へ排出すること	4. 食物が消化管をスムーズに通過できるように、形や大きさを整えること
---	---	---	-------------------------------------

1. 二酸化炭素を利用して養分を作り出し、光エネルギーとして蓄える。
2. 体内の水分を水蒸気として放出し、周囲の温度を調節する。
3. 受精卵が分裂を繰り返して、体をつくる細胞の数を増やしていく。
4. 酸素を利用して養分を分解し、生命活動に必要なエネルギーを取り出す。

1. BTB液 2. 酢酸カーミン液 3. ベネジクト液 4. ヨウ素液

1. ゾウリムシは1つの細胞でできている単細胞生物であるが、ミカツキモとミジンコは多くの細胞からできている多細胞生物である。
2. ゾウリムシ、ミカツキモ、ミジンコのすべてが、体が1つの細胞のみで構成されている単細胞生物である。
3. ミカツキモは植物と同じように光合成を行うため多細胞生物に分類されるが、ゾウリムシとミジンコは単細胞生物である。
4. ゾウリムシとミカツキモは、体が1つの細胞でできている単細胞生物であるが、ミジンコは多くの細胞が集まって体ができている。

1. 心臓から肺へ向かって、二酸化炭素を運ぶ役割を担っている血管だから。
2. 肺で二酸化炭素を放出した後の、きれいな血液が流れる血管だから。
3. 全身の細胞から戻ってくる血管と同じように、心臓の右心房につながるから。
4. 流れる血液の成分に関わらず、心臓へ戻る向きに流れる血管だから。

1. 右心室 2. 右心房 3. 左心室 4. 左心房

1. 「葉の表側にワセリンを塗った枝」であり、日光を浴びる面がふさがれたため。

2. 「何も処置をしていない枝」であり、水分の放出を調整する機能が働いたため。

3. 「葉の裏側にワセリンを塗った枝」であり、茎からの吸水が直接止められたため。

4. 「葉の裏側にワセリンを塗った枝」であり、蒸散の主な出口である気孔がふさがれたため。

1. 脂肪をブドウ糖に変化させて吸収を早める 2. 脂肪を水に混ざりやすくして、小さな粒に分散させる 3. 脂肪を脂肪酸とモノグリセリドに直接分解する 4. 脂肪を胃液と反応させて固形化させる

1. 表面積が非常に大きくなり、栄養分の吸収効率が高まる。
2. 内壁の表面をなめらかにすることで、食物の通過時間を短縮する。
3. 不要な物質が体内に入らないよう、微細なフィルターの役割を果たす。
4. 消化管の筋肉を厚くし、食物を大腸へ送り出す力を強める。

1. 急激に加熱すると、葉緑素が分解されて色が残ってしまうから	2. エタノールは引火しやすく、直接火にかけると火災の危険があるから	3. エタノールは沸点が低く、直接火にかけるとすぐに蒸発してなくなってしまうから	4. 直接加熱すると温度が上がりすぎて、葉の中のデンプンが焦げてしまうから
---------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------------